

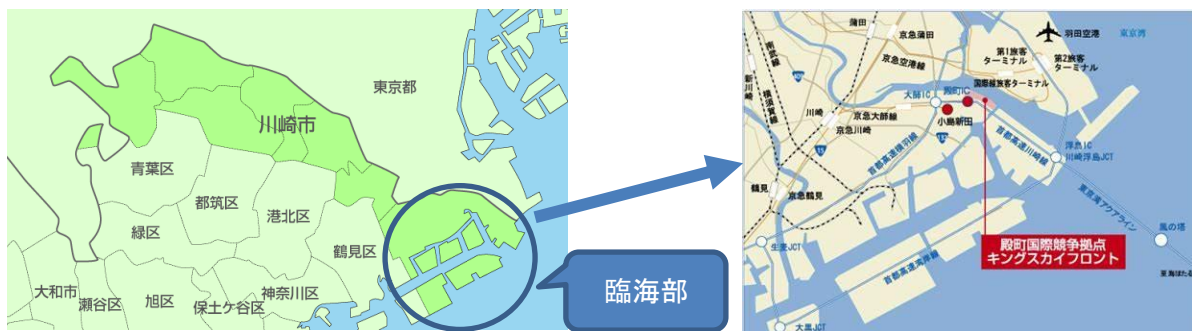
川崎地域連合 県内視察報告

川崎市「臨海部ビジョン」 30年後の将来像を視察

海から見た初めての景観！羽田空港、川崎港、我が社

川崎地域連合は、2019年10月3日(木)に川崎市川崎区の京浜臨海部を訪問し、「臨海部ビジョン」の視察を行いました。

目的は、川崎地域連合が川崎市に対し「政策・制度の要求と提言」に挙げている「臨海部ビジョン」の理解を深めるため、川崎地方自治研究センターのご協力のもと、国際戦略拠点「キングスカイフロント」の情報共有や臨海部乗船視察を行いました。



はじめに、川崎市臨海部国際戦略本部より30年後の川崎臨海部の目指す将来像「臨海部ビジョン」についてご説明いただきました。その後、ライフサイエンス分野の研究開発拠点として臨海部の持続的発展に貢献するために誕生した国際戦略拠点「キングスカイフロント」を視察しました。



キングスカイフロントの説明を受ける参加者



キングスカイフロントマネージメントセンター



羽田国際線ターミナルとキングスカイフロントをつなぐ橋、建設中の羽田連絡道路

臨海部乗船視察として、千鳥町埠頭から巡視船「あおぞら」に乗船し、川崎港一帯を遊覧しながら、羽田空港、川崎港、そして地域連合役員が勤めている工場群を海側から見学しました。また、船内では川崎港の役割や未来構想などを学びました。



巡視船「あおぞら」



千鳥町埠頭 船客ターミナル



鉄柱に支えられている羽田空港D滑走路